

1 次の漢字は、目に見えないものの形を具体的にえがいてできました。もとになっている絵文字をア〜オから選んで、——でつなぎましょう。

- ① 鳥 ・ ア 象
② 山 ・ イ 門
③ 馬 ・ ウ 山
④ 手 ・ エ 手
⑤ 門 ・ オ 鳥

2 次の文は、目に見えない事がらを、印や記号を使って表した漢字の由来を説明しています。あてはまる漢字を□から選び、()に書きましょう。

- ① 基準になる線の上に印をつけた。 ()
② 木の根元に印をつけた。 ()
③ 一定の位置からものが落ちることを表した。 ()

上 下 本

3 次の漢字は、漢字の意味を組み合わせてできました。例にならって、もとになっている漢字二字を書きましょう。

- (例) 鳴 → (口) と (鳥)
① 男 → () と ()
② 動 → () と ()
③ 信 → () と ()

4 次の漢字は、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせられてできています。音を表す部分を()に、意味を表す部分を□に書き、さらにどんな意味を表すかを□から選んで、()に記号を書きましょう。

- (例) 粉 音(分) 意味 米 ……小さいもの
① 板 音() 意味 □ ……
② 清 音() 意味 □ ……
③ 花 音() 意味 □ ……

ア 水 イ 植物
ウ 木や木製の物

5 下の□の漢字を①〜④の四種類に分けましょう。また、①から④の成り立ちからできている漢字のよび方も書きましょう。

- ① 目に見えない物の形を、具体的にえがいたもの。 () 文字
② 目に見えない事がらを、印や記号を使って表したものの。 () 文字
③ 漢字の意味を組み合わせたもの。 () 文字
④ 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。 () 文字

中 月 好 一 林
位 川 銅 板 悲

1 次の文のうち、敬語を使っている文はどちらでしょうか。それぞれ記号を書きま
しょう。

① ア 校長先生が、全校朝会で話をする。
イ 校長先生が、全校朝会で話しになる。



② ア 先生は、もう家に帰った。
イ 先生は、もう家に帰られた。



③ ア 父の会社の人に、旅行のおみやげをもらった。
イ 父の会社の人に、旅行のおみやげをいただいた。



2 次の文をていねいな言い方に改め、全文を書き直しましょう。

① わたしは、ゆう子さんの意見に賛成だ。

② さとしさんは、夏休みに海に行った。

3 次の文はどのような言い方になっていますか。□から選んで、記号を書きましょう。

① お客様がいらっしゃった。



ア 相手の動作に敬語を用いて、うやまう気持ちを表す
言い方。

② お客様をお見送りする。



イ 自分の動作をけんんんしていうことで、相手に敬意
を表す言い方。

4 線の部分を「先生」に変え、敬語の種類を考えながら適切な文に書き改めま
しょう。

〔例〕 友達が、ぼくの家に来る。→先生が、ぼくの家に来る。

① 兄は、先ほど学校に戻った。

② 友人から手紙をもらった。

③ 電話でしよう子さんの予定を聞いた。

④ 山本さん、昨日は何時に起きたの。

同じ読み方の熟語じゆくや漢字

○めあて 同じ読み方をする熟語や漢字を、文に合わせて使い分ける。

① こうじさんの意見を

支持 指示
する。

② 友達との

再會 再開
を喜ぶ。

③ 博物館で、昔の船を

する。

①
イガイ

ア 宿題が（
）に早く終わった。

イ 私の家族は、弟（みな九月生まれた。）

② ショウメイ

ア 無実を（ ）する。

イ 教室の（ ）を消す。

ア 兎^{ウサギ}館^{カン}の目の前に●★▲がある。

イ 車に気を付けて▲差点をわたる。

ウ 運[■]会で特別[●]をもらった。

工音★の授業で元気よく歌う。

	■	ア
	●	
	★	
	▲	
	▲	イ
	■	ウ
	●	
	★	エ

☆チャレンジ

ア 十分に反■しているので、次回の活やくに●待をする。

イ食●を落としてこわしてしまった。

新たな目▲をしっかりと立てる。

工 ■活に関するアンケートを▲にまとめて、●録する。

	■	ア
	●	
	●	イ
	▲	ウ
	■	
	▲	エ
	●	

1 和語・漢語・外来語について説明した番号を から選び、 の言葉がそれぞれどれに当たるか考え、記号を書きましよう。

和語……説明 () (言葉) ()

漢語……説明 () (言葉) ()

外来語……説明 () (言葉) ()

- ① 古くに中国から日本に入った言葉で、音読みをする。改まった文などで多く使われる。
 ② 世界のさまざまな国から入ってきた言葉で、ふつうは片仮名で書き表す。
 ③ もともと日本にあった言葉で、訓読みをする。

ア	ジュース	イ	混雑	ウ	青空	エ	ボール	オ	開始
カ	歌声	キ	ふるさと	ク	帰省	ケ	サイン	コ	初夏

2 漢語の読み方を () に和語の読み方を () に書きましよう。

(例) 生物 (セイブツ) () (いきもの) ()

① 年月 () () ()

② 色紙 () () ()

③ 草原 () () ()

3 次の文の——線の言葉を、へ——の形に変えて、全文を書き直しましよう。

(例) 待ち合わせにちこくした理由を話す。へ(和語)へ

(待ち合わせにおくれたわけを話す。)

① テニスの試合で、新品のボールを使用する。へ(和語)へ

② 学級のめあてをみんなで決める。へ(漢語)へ

☆チャレンジ

次の熟語の、漢語と和語のそれぞれの意味を、国語辞典で調べましよう。

① 見物	ケンブツ	()
	みもの	()
② 初日	シヨニチ	()
	はつひ	()

1 ———— の漢字の読みがなを書きなさい。

③			②			①		
色調	黄色	三色	守る	守備	留守	名前	名人	本名
()	()	()	()	()	()	()	()	()
⑥			⑤			④		
競う	競馬	競争	治る	政治	完治	直ちに	正直	日直
()	()	()	()	()	()	()	()	()
う			る			ちに		
()	()	()	()	()	()	()	()	()

2 次の言葉の()の読み方以外の読み方を書きなさい。

① 今日 (こんにち)	()
② 昨日 (さくじつ)	()
③ 上手 (うわて)	()
④ 一日 (いちにち・いちじつ)	()

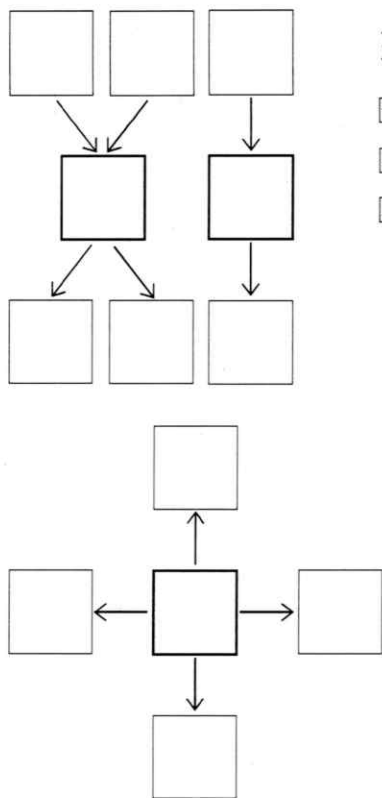
3 特別な読み方をする ———— 線の言葉の読み方を書きなさい。

- ① 二人の友情は永久に変わらない。
- ② 八百屋でだいこんとにんじんを買う。
- ③ デザートに果物を食べる。
- ④ 迷子の世話をする。
- ⑤ 川原 (河原) で、キャッチボールをする。
- ⑥ 一月二十日が姉の誕生日だ。

☆チャレンジ

例にならって、□に当てはまる漢字を入れ、それぞれ熟語を作ります。

(例) 音 → 楽 → 器



1 次の文の主語と述語を書きましよう。

① 妹が、大きくうなずく。

主語() 述語()

② 桜の花が、校庭にはらはらと散りました。

主語() 述語()

③ わたしは、母の作ったすてきなゆかたを着た。

主語() 述語()

2 次の各文の①～⑥の——線に対する主語を() に書きましよう。

・わたしは、弟が宿題もせずに居間でテレビを①見ている姿を②見て、

「宿題をしてから、テレビを見なさい。」

と、声を③かけた。

・雨は④止んだが、風はまだ⑤強いので、みなさん気を付けて帰きなさい。」

と、先生が⑥おっしゃった。

① ()
② ()
③ ()
④ ()
⑤ ()
⑥ ()

3 次の文の——線の言葉を修飾している言葉を、二つずつ選んで書きましよう。

① わたり鳥が、近所の大きな公園から飛び立っていきました。

() ()

② わたしは、いつまでも、じっと立っていました。

() ()

③ 朝会で、校長先生のお話をしっかりと聞く。

() ()

4 〔例〕にならって、二つの文が同じ意味になるように、() に言葉を書きましよう。

〔例〕
・松本さんは、静かに話す。
・松本さんは、(静かな)話し方をする。

① 庭にきれいなひまわりの花が、さいている。

()さいている。

② 図工の作品が、先生に高く評価された。

()評価を受けた。

③ わたしは、姉とおいしいケーキを作った。

()作った。

1 次の文の中では、どちらの言葉が合うか考え、正しい方に○をつけましょう。

① 文章のまちがいを

（修正）
（習性）
する。

② アンケートに

$\left. \begin{array}{cc} \left(\begin{array}{c} \text{解答} \\ \text{回答} \end{array} \right) \right\} \text{する。}$

2 次の各文の（ ）には、どの漢字を使った言葉が適切でしょうか。

から選びましょう。

①

・カ ・テ の す き 間 か つ た が 。	・じ し ゃ く の は り が 北 を （
---	--

「カーテンのすき間から光が――」

② 往復にかかる時間を

・一リットルの水の重さを（ ）。

③

・病院に行つて病気を（　　）。

直す 治す

量る 計る 測る

指す
差す

3 次の文の——線の言葉を漢字を使って直しましょう。

①

先生のまわりに集まる。

工事のためにまわり道を

・工事のためにまわり道をする。

②

みんなのセントウに立って歩く。
家族でセントウに行く。

「家族でセントウに行く。」

③ あついで辞書で調べる。

・日本の夏はあつい。

4 同じ読み方の漢字を使って、短い文を作りましょう。

①

公

袁

公演

②

測る 計る

1 次のつなぎの言葉のはたらきを下の□から選び、記号を書きましょう。

- ① しかし ()
② だから ()
③ さて ()
④ また ()
⑤ なぜなら ()

ア 話題を変えて続ける。
イ 前の事がらと反対の事がらを後に続ける。
ウ 前の事がらの理由があとに続く。
エ 前の事がらを理由として、後に結果が続く。
オ 前の事がらに後の事がらを付け加える。

2 次の文の () にあてはまる言葉を□から選んで、書き入れましょう。

- ① わたしは、駅まで急いで走った。()
それで・しかし・つまり・ところで、電車に乗りおくれってしまった。

- ② 和成さんは、スポーツが得意です。()
そのうえ・けれども・だから・あるいは、歌も上手です。

- ③ 私は本を読むのが好きだ。()
なぜなら・だから・そのうえ・しかし、図書委員になった。

3 文と文をつなぐ言葉を使って、二つの文に書きかえましょう。

- 〔例〕雨が降ってきたし、風も強くなった。
(雨が降ってきた。また、風も強くなった。)

- ① 季節は春になったが、まだまだ夜は寒い。
雨が降ったので、ハイキングは中止になった。

4 次の——線のつなぎ言葉に続く文を考え、()に書きましょう。

- ① 昨日は、おそくまで試験勉強をしていた。だから、
マラソン大会では、一生けん命に走った。しかし、

1 次の□の中の複合語は、①～⑥のうちのどの組み合わせに当たるかを考え、種類ごとに分類し、記号を（ ）に書きましょう。

- ① 和語と和語との組み合わせ
- ② 漢語と漢語との組み合わせ
- ③ 外来語と外来語との組み合わせ
- ④ 和語と漢語との組み合わせ
- ⑤ 和語と外来語との組み合わせ
- ⑥ 漢語と外来語との組み合わせ

ア 正夢
イ 輸入品
ウ ビデオカメラ
エ ビアノ教室
オ 雪合戦
カ 昼休み
キ 恩返し
ク レモンジュース
ケ 工事現場
コ 五十メートル
サ 新入生
シ 紙コップ
ス 手芸クラブ
セ テレビ放送
ソ スープ皿
タ そろばん教室
チ 消費税
ツ ボール投げ

2 「例」にならって、次の複合語の読み仮名を（ ）に、元の言葉を（ ）に、ひらがなで書きましょう。

- 〔例〕白波(しらなみ) (しろ) + (なみ)
- ① 雨雲 () → () + ()
 - ② 風車 () → () + ()
 - ③ 船旅 () → () + ()

3 次の複合語が国語辞典にのっていなかった場合、どんな言葉を引いてその複合語の意味を考えたらよいでしょうか。

- 〔例〕持ち運ぶ → (持つ) と (運ぶ)
- ① ね苦しい () と ()
 - ② 取り計らう () と ()
 - ③ しのび寄る () と ()

4 次の複合語を使って、短い文を作りましょう。

〔例〕受け取る 母からの手紙を受け取る。

- ① 引き返す
- ② 飛び上がる
- ③ つまみ出す

1 次の慣用句の意味に合うものを、下から選んで——線で結びましょう。

- ① きまりが悪い
 - ② 言葉をにごす
 - ③ 口がすべる
 - ④ 息をのむ
 - ⑤ 鼻にかける
 - ⑥ 後ろ髪(かみ)を引かれる
- ・ ・ ・ ・ ・
- おそれやおどろきで、思わず息を止めること
うっかりと言つてしまうこと。
恥ずかしいこと。ばつが悪いこと。
はっきり言わずに、あいまいにすること。
あとのことが心配で、心残りである。
自まんして得意になること。

2 次の①～⑥につながる言葉を、下から選んで、――線で結びましょう。

- ① 私の兄は近所で、
へそを曲げる。
- ② あなたのがんばりには、
顔が広い。
- ③ 先生の話に、
歯を食いしばる。
- ④ 今度の連休に沖縄に行くという話に
頭が下がる。
- ⑤ 母にしかられ、
むねをおどらせる。
- ⑥ 辛い練習に、
耳をかたむける。

3 次の慣用句を使って、短い文を作りましょう。分からない場合は辞書を引いて調べましょう。

- ① 頭をはなれない

- ② かたを落とす

☆チャレンジ

国語辞典を使って、体の部分の名前を用いた慣用句とその意味を調べましょう。

			(例)目をかける	慣用句
			かわいがって、めんどうを見ること。	意味